

「H・I・T」のご案内

(避難所イメージトレーニング)

東日本大震災だけでなく熊本地震でも避難所の開設・運営は大きな問題となりました。その理由の一つに避難所は住民が主体的に運営するという認識が低いことがあげられます。住民による自主運営を徹底するためには事前に「避難所生活運営計画」を作成しておくことが必要になります。

当機構では、避難所での生活をしっかりイメージしてもらうために「H・I・T（避難所イメージトレーニング）」を実施しています。HITの大きな特徴は、混乱する避難所での課題への対処方法を事例を交えて具体的に解説する点で、すでに500を超える自治体の職員が体験しています。災害が発生するたびに問題になっている避難所対策の強化にご協力させていただきます。

講演会も支援しています

当機構ではHITに関連した講演も可能です（WSとの組み合わせもできます）

- 演題例「避難所の開設・運営を学ぶ」
避難所の実情、問題、解決方法、災害関連死、事前の対策などを解説する
- 演題例「生活再建と公的支援」
被災後の生活再建時にどのような公的支援があるかを解説する
- 演題例「噴火災害と生活再建」
噴火災害時の被害の特徴を事例で紹介、避難生活、生活再建の考え方を解説する
- 演題例「避難所運営と平常時の地域の減災活動」
避難所の運営に備え、普段から地域で取り組んでおくべき活動を解説する
上記以外の講演もできます。お気軽にご相談ください。

H・I・Tの進め方

H・I・T（避難所イメージトレーニング）は、座学とワークショップ形式による受講者参加型研修です。大規模災害（大地震）発生を想定し、被災者の生活の場となる“避難所”をいかに開設し、運営するかを習得する事を目的にしています。（1日コース、半日コースなど、ご希望に合わせて企画します）

基本講演

- ・避難所開設・運営に関する基礎知識
- ・事例紹介
- ・これまでの課題と改善点
- ・避難所に関する法律 など

グループ討論開始



ワーク ショップ1

- ・避難所施設の使い方は？
- ・学校をテーマに部屋割りを考える
居住空間は？立入禁止は？
- *1班6～8名程度でグループ討論します



課題付与→検討→発表

ワーク ショップ2

- ・様々な要望や問合せへの対応を検討！
トイレは？ペットは？物資の配付は？
- ・開設マニュアルを作ろう！
- ・避難所ルールを考えよう！
*その他ニーズに応じて内容、時間の変更は可能です。

HITの特徴

- 避難所の生活をイメージできるようになります。
- 課題への対応策を検討することで、事前対策につなげます。

方法：ワークショップ形式

参加対象：

自治体職員、住民、学校関係者→誰でも参加できる！

参加人数：

特に人数は問わない。ただし部屋は1箇所がベスト。

演習内容：

学校の使い方、集団生活時の運営組織及び生活ルールの必要性についての理解

演習時間：

約3時間程度は必要

当日の準備品：

学校の地図、マジックなどであまり多くない。

事前の準備も比較的容易！